

各種学級（学校）講座の普及と学習内容の充実は、青年成人教育上きわめて重要である。したがって適正な企画と運営、ならびに具体的な指導内容についての研究討議を行ない、もって成人・青年教育の振興を図る。

- (2) 主 催
福島県教育委員会
- (3) 期日・会場・参加者数
・昭和42年5月16日～18日 2泊3日
・国立磐梯青年の家
・64名
- (4) 参加対象者
・市町村教育委員会社会教育担当者
・文部省委嘱婦人学級事務担当者・青年学級事務担当者
・公民館、各種学級（学校）講座担当者
・企業商工会青少年教育担当者
・各種学級（学校）講師、同補佐
- (5) 講師および助言者
① 講 師
文部省主任社会教育官 藤原 英夫
県教育庁社会教育課長 佐藤 正義
② 助 言 者
県教育庁社会教育課員
教育事務所社会教育主事
- (6) 研究内容
① 講 義
・社会教育における対象と学習領域
・教育原理
② 分科会
ア. 青年学級部会
・青年学級における生活指導をどのようにしたらよいか。
イ. 婦人学級部会
・婦人学級の企画・運営をどのようにしたらよいか。
ウ. 成人学級（学校）部会
・成人学級（学校）、高令者学級の企画・運営をどのようにしたらよいか。
③ 全体会
・各分科会の報告と討議
- (7) 効 果
青年・婦人・成人の共通課題についての講義による基礎的理解と、分科会、全体会における企画・運営・学習内容等についての具体的事例研究により、総合的に学習できたことは効果的であった。参加者に初任者が多く、各分科会とも助言者によるオリエンテーションの時間をじゅうぶんととり、それをもとに研修をすすめ、学級・講座の性格が明確にされ今後の振興が期待された。

3 P T A 研究集会

- (1) 目 的
P T A の組織、運営、活動上の諸問題について研究協議し、P T A の地域活動の助長をはかる。
- (2) 主 催
福島県教育委員会

福島県 P T A 連絡協議会

- (3) 期日・会場・参加者数
・昭和42年11月9日～10日（1泊2日）
・郡山市熱海文化体育館
・220名
- (4) 参加対象者
・小中学校 P T A 幹部指導者（各教育事務所 10名以上）
- (5) 講師および助言者
① 講 師
福島県 P T A 連絡協議会長 瀬戸 孝一
福島県教育委員会教育次長 大塚 喬清
福島県教育庁社会教育課長 佐藤 正義
② 助 言 者
県教育庁社会教育課員
県教育事務所社会教育主事
- (6) 研究内容
① 講 義
P T A の本質的な活動をすすめるためにどのようにしたらよいか。
・学習活動をさかんにするために 瀬戸講師
・社会教育と P T A 大塚講師
・P T A に期待する 佐藤講師
② 協議事項
ア. P T A はどんな組織でどのように運営したらよいか
イ. 子どものためのよい生活環境をつくるため P T A はどんな活動をしたらよいか。
ウ. 会員のための学習はどのようにすすめたらよいか。
- (7) 効 果
P T A の本質的活動についての事例研究により具体的に方策が検討され、幹部指導者としての資質と自覚を高め、P T A 地域活動の助長に貢献したものと思われる。

4 婦人団体指導者研修会

- (1) 趣 旨
現在の社会の姿まうの中で、婦人団体の役割を検討し、団体の運営・活動と、その育成をはかるとともに、婦人教育の振興に資する。
- (2) 期日・会場・参加者数

方 部 部	期 日	会 場	参加者
県北方部	7月18・19日	飯坂町福島市立市民センター	120
県南方部	7月25・26日	三春町三春町立三春中学校	300
浜通り方部	7月27・28日	富岡町富岡町立第一小学校	170
会津方部	8月1・2日	下郷町下郷町立公民館	150

- (3) 内容および方法
① 研究主題
「婦人団体の運営・活動のあり方」
② 講 演
「マス・コミと婦人生活」
③ 講 義
ア. 団体の組織と運営のあり方
イ. 集会のもち方と、プログラムのすすめ方
ウ. 団体事務のすすめ方